

## 第4章 南部丘陵に関する市民意識

### 1 緑の保全と創出に向けたアンケート調査

#### (1) アンケート調査

##### 1) 実施要領

- 調査対象：市内在住の18歳以上の男女から3,000人を区・男女の偏りが無いよう無作為に抽出（住民基本台帳データを使用）
- 調査方法：郵送配布・郵送回収、督促無し
- 調査期間：平成22年10月18日（月）～10月31日（日）

##### 2) 回収状況

- 有効配布数：2,958件（転居先、住所不明などで42件の返送）
- 回収数：1,414件、回収率約47.8%
- 有効回答数：1,382件、有効回答率46.7%

##### 3) 回答者の属性

回答者の属性（性別、年代、居住区）を示す。

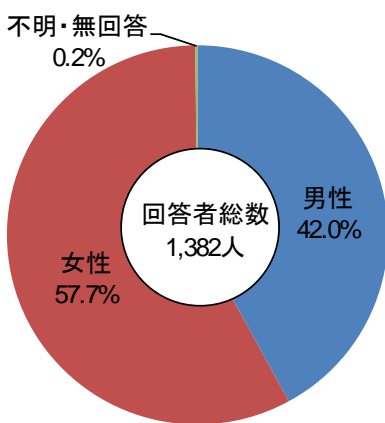


図 4.1.1 性別

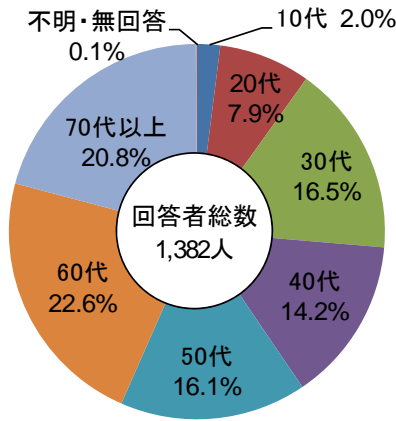


図 4.1.2 年代

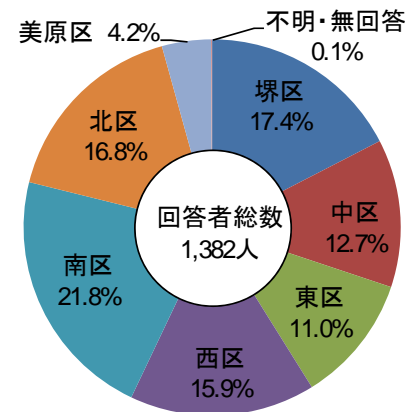


図 4.1.3 居住区

#### (2) 調査結果

##### 1) 南部の丘陵地の知名度

「知っている」と答えた方が最も多く42.2%、次いで「知らない」が27.6%、「何となく知っている（聞いたことはある）」が25.8%となっている。

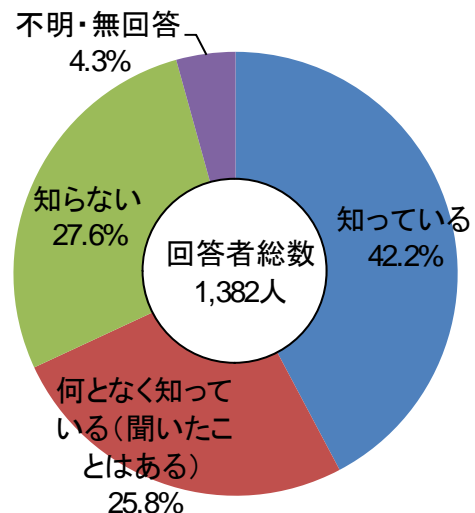


図 4.1.4 知名度

## 2) 南部の丘陵地の利用・来訪経験

「堺・緑のミュージアムハーベストの丘」と答えた方が最も多く 64.1%、次いで「堺公園墓地」が 29.1%、「みかん狩り園」が 23.6%、「行ったことがない」が 22.9%、「櫻井神社」が 22.8%となっている。

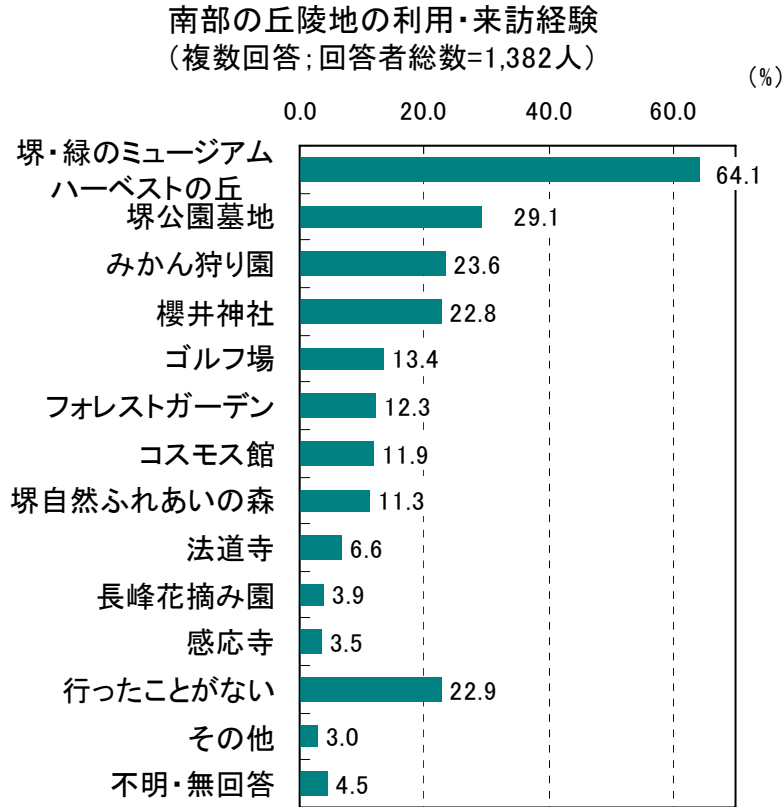


図 4.1.5 南部丘陵の利用・来訪経験

## 3) 南部の丘陵地の緑地保全について

「進めるべきだと思う」と答えた方が最も多く 50.7%、次いで「どちらかといえば進めるべきだと思う」が 32.4%となっており、両方を合わせると 83.1%となる。南部丘陵の緑地保全に肯定的な意見が全体の 8 割以上を占める。

一方、「進めるべきだとは思わない」が 1.2%、「あまり進めるべきだとは思わない」が 3.0%と、合わせて 4.2% (58 人) となっている。

その理由としては、「他にもっとすべきことがあり優先度が低いと思うから」と答えた方が 34 人、「市内に、すでに十分に緑はあると思うから」が 13 人などとなっている。

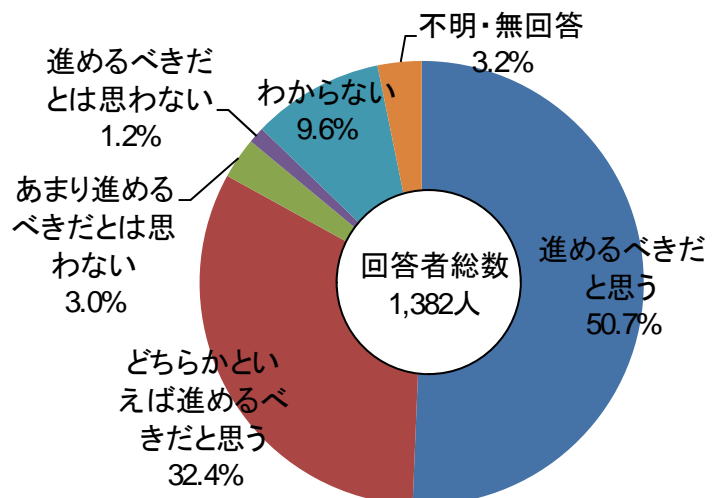


図 4.1.6 南部の丘陵地の緑地保全について

#### 4) 南部の丘陵地の緑地保全を進めるべき理由

前問で、南部の丘陵地の緑地保全について「進めるべきだと思う」あるいは「どちらかといえ  
ば進めるだと思う」と答えた1,148人の方に対する設問である。

「花や動植物、風景などにより、季節を感じられる大切な場所だから」と答えた方が最も多く  
69.6%、次いで「緑によってまちを涼しくしたり、空気をきれいにしたたりする効果が期待できるか  
ら」が61.8%、「癒しの場として活用できそうだから」が57.8%、「自然の動植物の保全につながる  
から」が55.3%となっている。

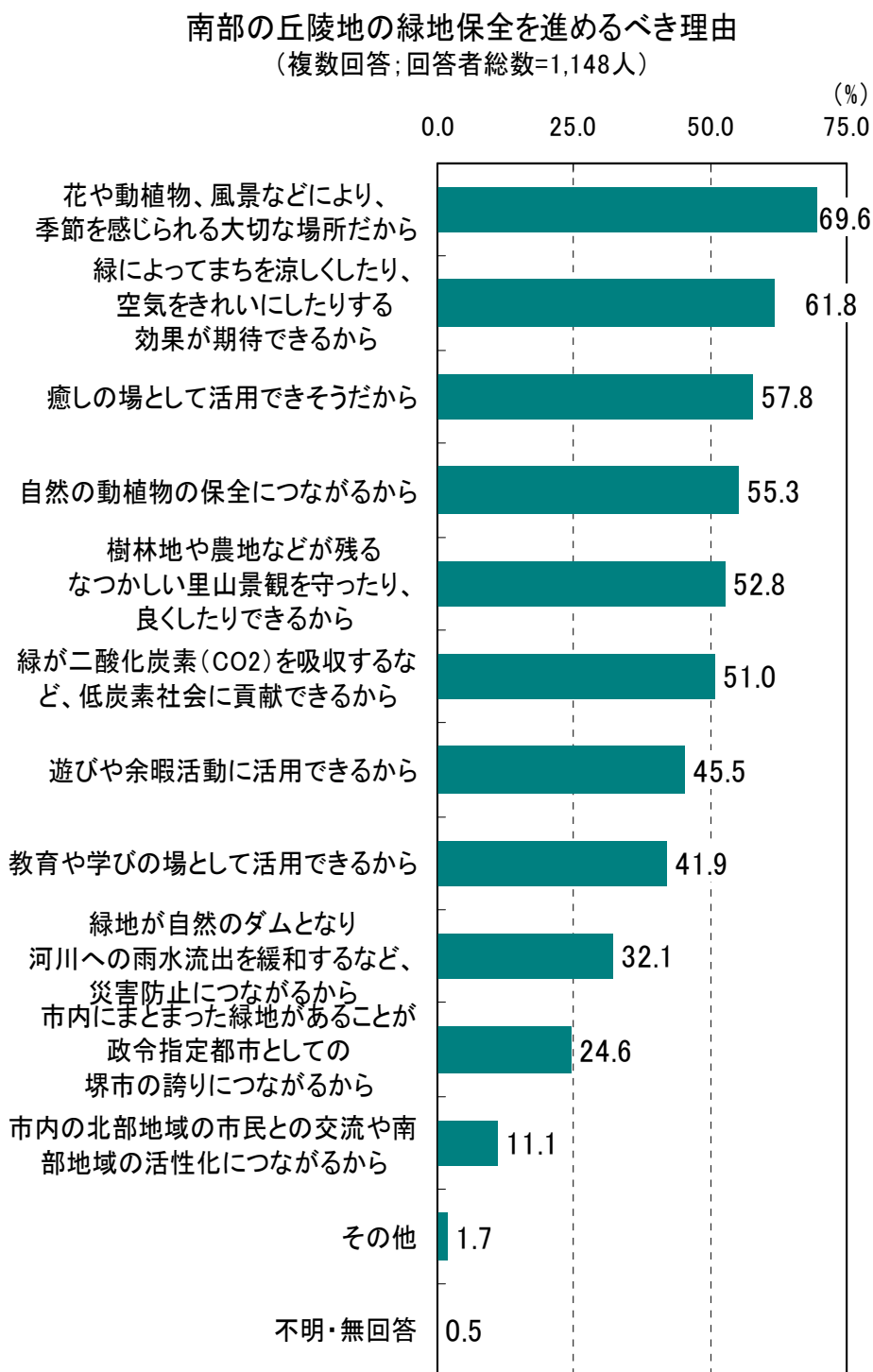


図 4.1.7 南部の丘陵地の緑地保全を進めるべき理由

## 5)「堺市緑の保全基金」への寄付金について

「年間一人当たり 500 円程度であれば協力してもよい」と答えた方が最も多く 30.0%、次いで「年間一人当たり 1,000 円程度であれば協力してもよい」が 21.9%、「年間一人当たり 100 円程度であれば、協力してもよい」が 18.3%となっている。

「年間一人当たり 500 円程度」以上と回答された方を合わせると、56.7%となり、6割近くの方が年間一人当たり 500 円以上の寄付の意向がある。

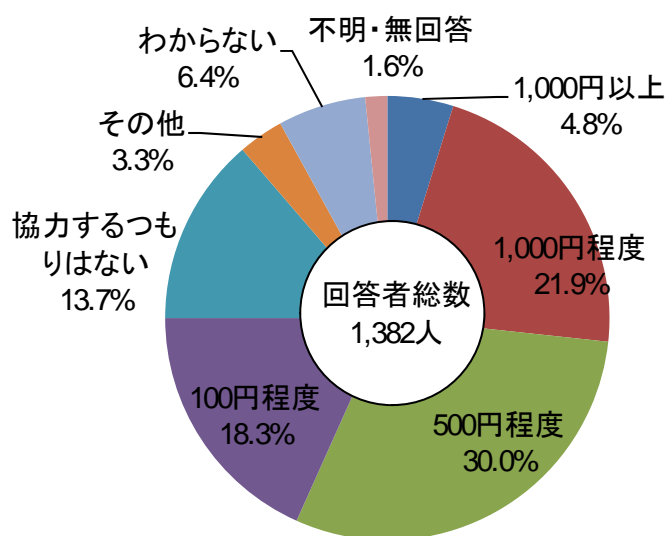


図 4.1.8 堺市緑の保全基金への寄付金について

グラフ上の表記は以下の項目の略記である。

「1,000 円以上」→ 年間一人当たり 1,000 円以上であっても、協力してもよい

「1,000 円程度」→ 年間一人当たり 1,000 円程度であれば、協力してもよい

「500 円程度」→ 年間一人当たり 500 円程度であれば、協力してもよい

「100 円程度」→ 年間一人当たり 100 円程度であれば、協力してもよい

「協力するつもりはない」→ あえて資金面で協力するつもりはない